

池辺 佳織さん（鳥取県米子市出身）  
2014年度3次隊 青年海外協力隊  
派遣国：マラウイ 職種：公衆衛生  
2016年9月11日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 最貧国の医療改善に力

アフリカ南東部のマラウイ。最貧国といわれるこの国の首都リロングウェから北約300キロ、ムジンバ県マニャムラのヘルスセンターが活動拠点だ。保健師として、スタッフと一緒に5歳未満児の健康診断や予防接種のほか、栄養不足の子供に高栄養食品を渡して管理したり、母親の料理指導をしたりしている。

マラウイは医師の資格を持つ人が非常に少ない。医師に準じる資格を持つ者が住民約3万人をカバーするなど、日本の常識からは、かけ離れた現状がある。

例えば、注射後の出血を指で押さえる、はだしの子供が多い中、使った針・ガラス製品を地面に捨てる、無資格で縫合…。ミーティング時に感染予防や危機管理について話すが、なかなか改善に至らない。当初は落胆することも多かったが、彼らの生活を理解した上で何度も繰り返し訴えるなど、地道な取り組みが必要だと分かってきた。

活動先と自宅に電気はない。ワクチンを保存する冷蔵庫はパラフィンを燃やして冷やすタイプだが、よく在庫切れし、ワクチンは保管できなくなることもある。自宅では炭火での生活。お風呂もトイレもキッチンも外だ。

けれど遮る物が何もない景色と子供たちの笑顔を見ていると、貧しいながらも分け与え合い、平和に家族と生活するというシンプルな幸せの大切さが分かるようになってきた。それらを尊重しながら医療サービス向上についての同僚の意識改革にも取り組みたい。



サッカーイベントに参加し、ポスターを手に母子手帳の管理向上を訴えた。乳幼児健診の際には、手帳の意味や見方なども伝える